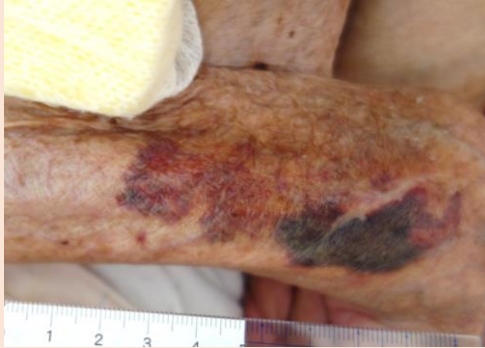


前腕スキントエア リスクアセスメントツール

本ツールは、日本人高齢者の前腕におけるスキントエアの発生リスクを推定するものです。

第1段階



老人性紫斑

真皮および血管の脆弱化により発生する皮下出血。伸側に限局し濃紫色。数日で消失し、色素沈着が生じる場合もある。前腕外側の紫斑を観察。



ドライスキン

皮膚の皮脂や水分が不足した状態。大小さまざまな鱗屑が観察される。前腕内外側の鱗屑の有無を観察。

第2段階



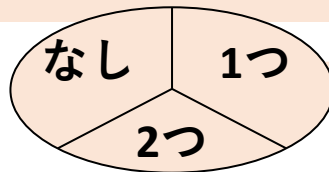
偽瘢痕

浅い外傷、あるいは自覚症状のない微視的損傷の治癒に伴う表在性瘢痕組織。前腕内外側の線状または星状の白斑の有無を観察。



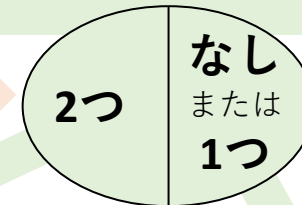
拘縮

腱や筋、関節包、皮膚などの萎縮と線維化に伴う関節可動域の制限。肩から手指に至る関節の可動域を観察。



ハイリスク

アームカバーやベッド柵カバーなど



リスクあり

皮膚の保湿など